

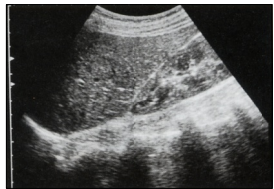
Medical Technology News

LOOK



あなどれない脂肪肝

ドックや検診などのエコー検査で、多く見られる所見の1つに脂肪肝があります。脂肪肝とは肝細胞の30%以上に中性脂肪が蓄積した状態で、エコーでは健常者の肝臓に比べ白く見えるのが特徴です。実際のエコー検査では、脂肪の蓄積がない腎臓の皮質や脾臓と比較して判断しています。原因は過栄養とアルコールの多飲が主ですが、栄養障害でも脂肪肝になり、食事を極端に制限する過激なダイエットは要注意です。また、最近注目されているNASH(非アルコール性脂肪性肝炎)は、脂肪肝に似た病態で肝硬変、肝臓に移行する疾患です。残念ながらエコー検査で普通の脂肪肝とNASHを鑑別することはできず、確定診断には肝生検が必要です。

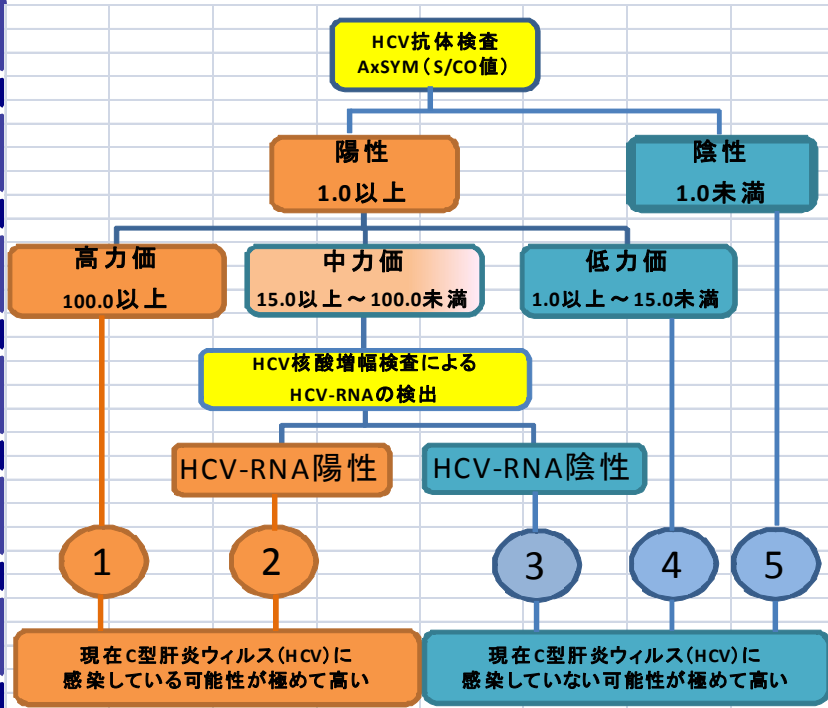


正常な肝臓



脂肪肝

C型肝炎ウイルス検診におけるC型肝炎ウイルス検査のフローチャート



鉄欠乏性貧血は最も頻度が高く、日常診療でもみる機会の多い貧血です。
世界的に、鉄欠乏性貧血は低所得に伴う低



貧血・最も多い鉄欠乏性貧血

20~50代女性の4人に1人が貧血!!

栄養や衛生状態の悪い地域で多く発症しています。しかし、わが国は経済的にも、栄養状態にも恵まれているにもかかわらず、先進国の中でも発症頻度が高く、問題となっています。

現状として、2003年の国民健康・栄養調査結果によると、貧血(男性はヘモグロビン13g/dl以下、女性は12g/dl以下)は成人男性の11.1%、成人女性の21.7%に認められ、特に男女とも70歳以上の高齢者では約30%と高く、20~50代では男性の貧血が約3%であるのに対し女性は約15~25%と高頻度です。月経があり妊娠・出産を経験するこの年代ではおよそ4人に1人は貧血状態である可能性があります。その原因の一つとして、国民1人当たりの鉄摂取量の減少が指摘されています。1999年までは国民1

HCV抗体が陽性であっても現在の感染を反映しているとは限りません。診断にはHCV抗原(コア蛋白質)やHCV-RNA(RT-PCR)等の検査結果、また臨床経過を考慮して総合的に判断する必要があります。当検査室ではHCV抗体力価(S/CO値)1.0以上から10.0未満を判定保留(境界領域)、10.0以上を陽性として報告しています。

2009年10月
第4号
発行元 八雲総合病院
臨床検査室



ほと time

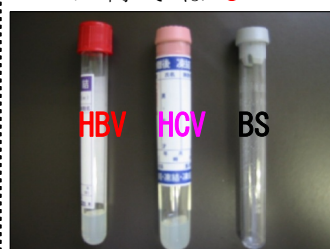
トレッドミル検査では、ホッキョクギツネのかわいい写真を見ながら歩いてもらいます!
患者さんの緊張を和らげ、気分も涼しくしてくれる
大好評うちの看板ギツネ
白くてモコモコの
上がった後ろ足がとっても
キュートでしょ!?



検査の基本

シリーズ採血管その④

血糖の採血管(グレーキャップ/フッ化ナトリウム入)は2ミリ用です。可能な限り線までの採血をお願いします。またHCV-RNA(RT-PCR)、HBV-DNA(RT-PCR)の専用採血管は下記の写真の通りですので、検査室(内226)までお問い合わせ下さい。



編集後記

短い夏に終わりを付け、紅葉が美しい季節をむかえました。今年の秋は小春日和の暖かい日が多いという長期予報です。食欲の秋!芸術の秋!スポーツの秋!○○の秋!みなさんはこの秋、どのような過ごし方をされますか?
新聞は第4号となりましたが、文字が多いでしょうか?ご意見お待ちしております。

欧米諸国では食品に鉄を添加して鉄欠乏を予防していますが、わが国も何らかの予防策が必要であるといわれています。
(検査と技術)37頁より

